

PRESS RELEASE (2026/07/24)

九州大学が文部科学省「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」に採択 半導体経営人材、水素エキスパート、洋上風力エンジニアの育成へ

2026 年 6 月 12 日、国立大学法人九州大学は、文部科学省の令和 7 年度補正予算「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」メニュー②「産業成長」において、「九州大学版イノベーションエコシステム形成に向けたリ・スキリング教育事業の展開」の採択を受けました。

本事業は、大学等が地域や産業界と連携し、人材育成ニーズを踏まえてリ・スキリングプログラムを開発・提供するとともに、産学官等が連携したリ・スキリング・エコシステムの構築を支援することを目的としています。

九州大学ではこれまで、産学連携機能を外部法人に集約した戦略事業子会社「九大 OIP 株式会社」と連携し、産学連携で価値創造を行う人材の育成を目的に、リ・スキリングプログラムの開発から提供を持続的に行う、エコシステムの構築に取り組んできました。

今回の採択を受けて、九州大学の総合知を活用した「半導体×経営」「水素」「洋上風力」の 3 領域に係る体系的な人材育成基盤を形成し、各分野の実践的スキル獲得を可能とするリ・スキリングプログラムを整備します。

【「半導体を事業価値につなげる経営人材育成プログラム」の概要】

九州大学ビジネス・スクール、価値創造型半導体人材育成センターおよび九大 OIP 株式会社は、2026 年 10 月 2 日(金)より、半導体関連企業における経営人材の育成を目的とした全 10 回のリ・スキリング講座「半導体を事業価値につなげる経営人材育成プログラム—技術力の基盤の上に、戦略・経営・投資判断の武器を身に付ける—」を開講します。

半導体関連企業やユーザー企業が、半導体の力を市場競争力や成長力につなげていくためには、技術・設備への投資を収益へ結びつけ、再投資を行う好循環を形成することが重要です。そのためには、技術・市場・地政学・財務を横断的に捉え、意思決定を行う経営人材の育成が必要です。

この課題を解決するため、九州大学は、「半導体を事業価値につなげる経営人材育成プログラム」を提供します。

受講対象者は、半導体メーカー、ファウンドリ、組立・検査、材料・製造装置企業、半導体設計会社、半導体ユーザー企業等にて、次世代の経営人材候補となる部長クラスです。

コンテンツは、①視座転換、②構理解、③判断訓練、④翻訳/構想の 4 フェーズで構成されます。受講生は、専門分野の管理者から、事業運営にコミットする経営者へと視座を引き上げ、経営判断に必要な知識・考え方・分析ツールを習得するとともに、異業種との協働を通じた新たな発想と人的ネットワークを獲得します。

受講申し込みは、こちら。<https://ku-oip.co.jp/recurrent/programs/MspxZUf5>



【「水素リ・スキリング教育プログラム」の概要】

水素分野にわたる基礎・応用科目群、社会実装を含めた学理深堀・発展科目群をモジュール化し、九州大学の水素インフラを活かす本学でしかできない水素分野の実験・実習を新規整備する。

九州大学の持つリソース

○世界最大規模(1万m²強)の研究専用インフラ

- ・燃料電池
- ・水電解評価装置
- ・顕微鏡装置 他

○水素に関する授業科目



基礎学理・応用科目群

- ・水素製造システム(化学熱力学、水電解技術)
- ・水素貯蔵システム(材力、疲労、貯蔵要素技術)
- ・水素利用システム(燃料電池に関わる学理、評価法)

基盤科目群

- ・水素工学概論(オムニバス、全分野を網羅)
- ・水素利用プロセス(電気化学プロセス基礎)

リ・スキリングへ
発展的展開

九州大学のリ・スキリング

先端技術実習(対面型)

- ・燃料電池評価実習
- ・水電解評価実習
- ・水素貯蔵評価実習

上級コース(双方機能付きオンデマンド型)

- ・水素製造システム
- ・水素貯蔵システム
- ・水素利用システム

中級コース(オンデマンド型)

- 水素工学概論
- 水素利用プロセス

↑ 連携

初学者向けの土台

- ・【福岡県が実施】福岡県水素グリーン成長戦略会議人材育成事業

九州大学大学院工学研究院機械工学部門、サステナブル水素研究所および九大 OIP 株式会社は、2026 年 10 月より「水素リ・スキリング教育プログラム」を開講し、福岡県・福岡県水素グリーン成長戦略会議と連携して水素分野におけるエキスパート人材の育成に取り組んでいきます。

2024 年 10 月の「水素社会推進法の施行」以降、水素技術の社会実装が本格化し、企業では水素に関わる人材の育成が急務となっています。

この課題に対し、九州大学は①水素研究力(1 万 m² 強の専用インフラ、新設のサステナブル水素研究所など)、②水素教育力(水素エネルギーシステム専攻による人材輩出、のべ修士 545 名・博士 120 名)、③福岡県と共に継続実施中の「福岡県水素グリーン成長戦略会議人材育成事業」(のべ 1700 名以上の受講生)の経験を土台に、「水素リ・スキリング教育プログラム」を企画しています。

本プログラムでは、双方向機能付きオンデマンド教材、対面での実験・実習の場を通して、受講生が水素に関する基礎学理を理解し、要素技術への応用力等を身に付けることを目指します。

本事業により、九州大学と福岡県との「包括連携協定」による取組が一層進展します。

受講申し込みは、こちら。<https://forms.cloud.microsoft/r/g8tqXKnhfp>

【「洋上風力発電人材育成に係るリ・スキリングプログラム」の概要】

国内の洋上風力発電案件形成が進んでいく中で、「洋上風力産業人材の育成」は大きな課題です。特に、洋上風力発電事業における調査・設計、製造、組立・設置、運用・メンテナンス、撤去等の全ての分野で人材は大きく不足しており、優秀な洋上風力産業人材を育成する基盤の早急な整備が望まれています。当該人材に求められる知識・能力は、表面的・現場的なものだけでは不十分で、特に日本特有の風況・海象ならびに社会状況に対応するために、学問体系に基づく高度な知識と応用力・実践力が求められています。

上記状況において、九州大学洋上風力研究教育センター(RECOW)では、2022 年度より洋上風力発電の主にエンジニアリング等分野のリ・スキリングプログラムの整備を進めてきています。2025 年度からは、上記整備のうち、洋上風力発電産業で働く新卒者・中途採用者・社内異動者など幅広い層を対象にした初級プログラムの整備を開始し、既に「風力発電システム(初級)」「風況・海象(初級)」「浮体設計・支持構造物(初級)」を開発・実施しています。当該プログラム開発・実施にあたっては、第一線の研究者による学問体系に基づくコンテンツと経験豊富な企業実務者による業界動向や実務に関するコンテンツを最適化してカリキュラムを組むことにより、学問体系に基づく高度な知識と応用力・実践力の習得が可能となっています。

2026 年度は、九州大学、佐賀大学、北九州市立大学、熊本大学、九州工業大学ならびに洋上風力産学官連携コンソーシアム(2026 年 5 月末現在 91 機関が参画)が協働し、2025 年度に開発した「風力発電システム(初級)」、「風況・海象(初級)」、「浮体設計・支持構造物(初級)」の 3 プログラムの高度化、「経済性評価(初級)」と「電気システム(初級)」の 2 プログラムの開発・実施、新規分野の 2 プログラムの実施可能性検討を行います。



RECOW は上記取組みを進めることにより、我が国の洋上風力発電産業を牽引する人材の育成を推進します。

受講申し込みは、こちら。

https://recow.kyushu-u.ac.jp/hrd_2026/

【参考 URL】

- ・ [令和 7 年度補正予算「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」補助金事業について:文部科学省](#)
- ・ [九州大学リスキリング](#)

Kyushu University **VISION 2030**
総合知で社会変革を牽引する大学へ

【お問い合わせ】 九大 OIP 株式会社 イシュードリブンチーム
産学連携コーディネーター 久保園 遥
TEL: 092-400-0389 FAX: 092-400-0527
Mail: recurrent@airimaq.kyushu-u.ac.jp



自動車・水素産業振興課
直通: 092-643-3448
内線: 3771、3646
担当: 隈本、畠山

九州大学と福岡県が連携し、水素分野の入門・初級から中・上級まで網羅した人材育成カリキュラムを実施します！

県では、産学官による「福岡県水素グリーン成長戦略会議※」（以下、「戦略会議」）のもと、水素関連産業の集積や「環境と経済の好循環」をつくるグリーン成長を目指し、人材育成や製品開発支援、水素利活用の拡大に取り組んでいます。

また、県と国立大学法人九州大学(以下、「九州大学」)は、令和4年に包括連携協定を締結し、脱炭素分野への参入支援などの取り組みによる県内の産業振興・地域課題解決を目指しています。

このたび、文部科学省の「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」に、九州大学の「水素リ・スキリング教育プログラム」が採択されました。今後、県(戦略会議)と九州大学が連携し、受講生の募集や講座の開催に取り組むことで、水素分野における入門・初級者向けから中・上級者向けを網羅した、社会人向けの一体的な人材育成カリキュラムを提供していきます。

※ 社会全体の脱炭素化に向けて、環境施策を経済成長につなげ、福岡県での水素による「グリーン成長」を図ることを目的とした、産学官連携組織

1 九州大学の水素分野の人材育成プログラム

「リ・スキリングプログラム」概要

・水素工学や製造・貯蔵・利用システムなど水素分野を専門的に学ぶ講座や、水素関連技術に関する実践的な実習講座など中・上級者レベルのプログラムを提供。

2 県(戦略会議)の「水素人材育成講座」概要

- ・九州大学と連携して、水素全般や水素利活用に関する技術動向など水素関連分野の入門・初級レベルのプログラムを提供。
- ・平成17年度の開講以来、延べ1,700人以上が受講。

【各講座の概要】

	九州大学	県(戦略会議)
対象者	工学的な基礎知識のある方	水素関連分野への参入に関心のある方
実施内容	中・上級者向けの専門・実践講座	入門・初級向けの基礎講座
実施場所	オンデマンド配信もしくは九州大学	オンデマンド配信
実施時期	令和8年10月開始予定(各講座の詳細は今後下記サイトに掲載予定) ・九州大学リスキリング(https://ku-oip.co.jp/recurrent) ・福岡県水素グリーン成長戦略会議(https://f-suiso.jp/)	



九州大学
リスキリング

福岡県水素グリーン
成長戦略会議

九州大学「リ・スキリングプログラム」

先端技術実習(対面型)

- ・水電解評価実習
- ・水素貯蔵評価実習
- ・燃料電池評価実習

上級コース(双方機能付きオンデマンド型)

- ・水素製造システム
- ・水素貯蔵システム
- ・水素利用システム

中級コース(オンデマンド型)

- 水素工学概論
- 水素利用プロセス



連携

福岡県水素グリーン成長戦略会議 「水素人材育成講座」

入門・初級レベル(オンデマンド型)

- 水素全般、水電解、燃料電池、タンク・金属、水素ステーション、水素・アンモニアの各分野の技術動向等